

三重県内の道路交通量の推移（令和6年1月）

令和6年1月の主な県管理道路の交通量推移についてお知らせします。

○前月との比較

県内10地点のうち、
10地点全てで減少しました。
最も減少したのは熊野でした。

○前年との比較

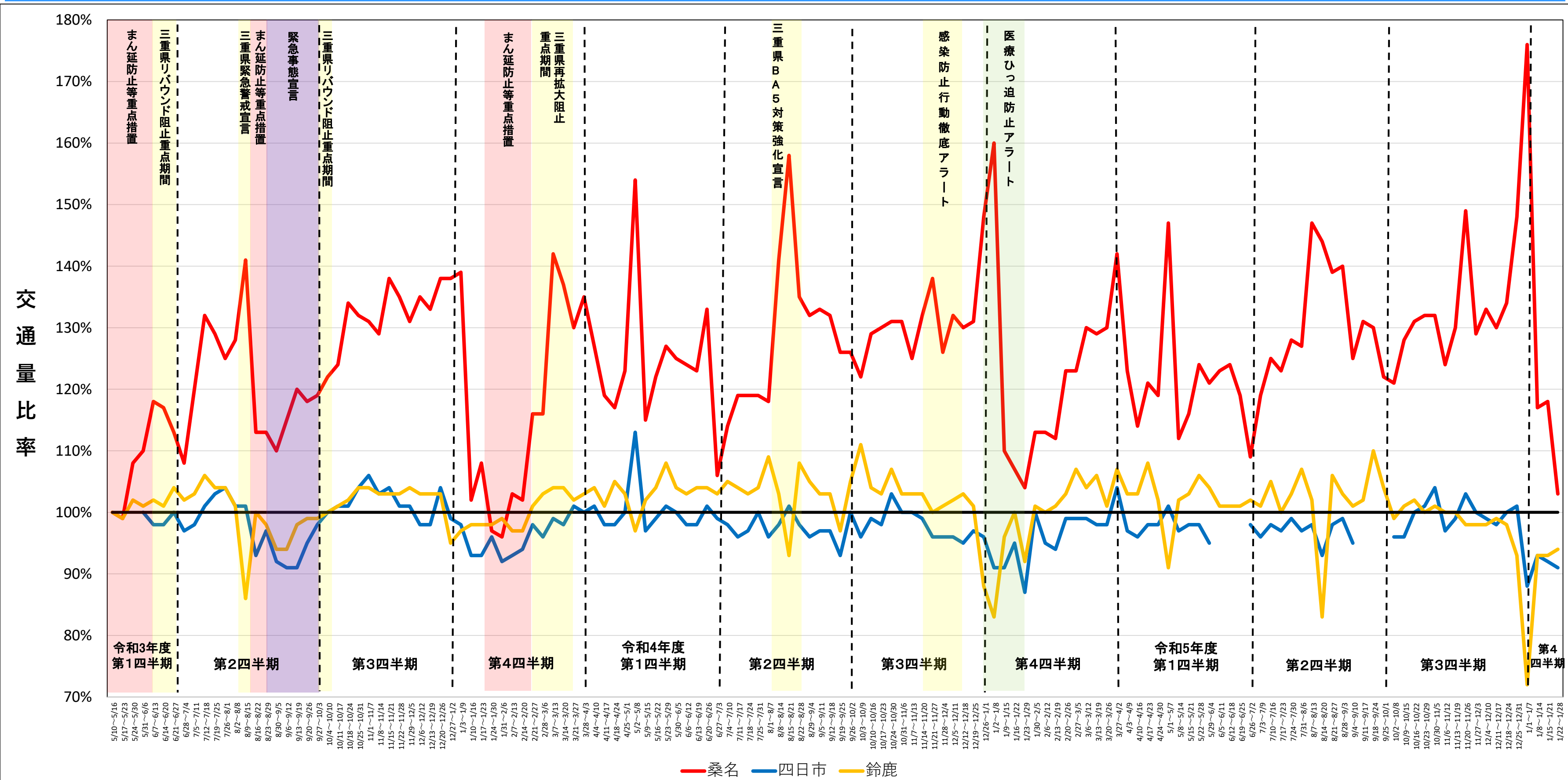
県内10地点のうち、
5地点で増加しました。最も増加したのは伊勢でした。
4地点で減少しました。最も減少したのは鈴鹿でした。

<県管理道路> 全車種・全日

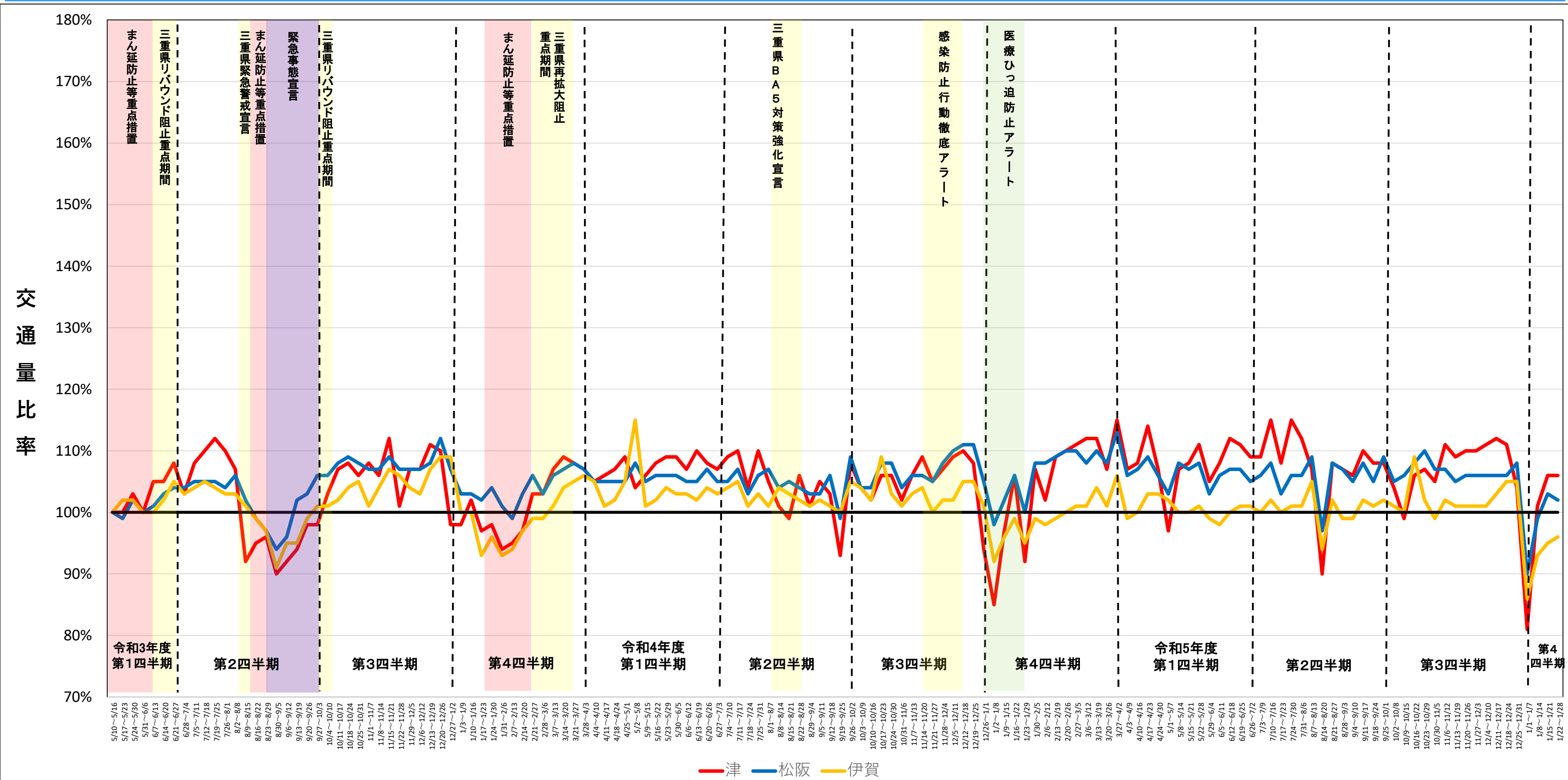
地域		設置箇所特性	前月比 (対 R5.12)	前年比 (対 R5.1)
北勢	桑名	観光地周辺	-7%	+5%
	四日市	観光地周辺	-8%	+1%
	鈴鹿	観光地周辺	-8%	-3%
中勢	津	IC周辺	-8%	+5%
	松阪	IC周辺	-7%	-2%
伊勢志摩	伊勢	観光地周辺	-1%	+7%
	志摩	観光地周辺	-6%	-1%
伊賀	伊賀	観光地周辺	-10%	-2%
東紀州	尾鷲	IC周辺	-8%	±0%
	熊野	広域防災拠点付近	-12%	+2%

※各月の平均に対する増減としています。

なお、交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています。

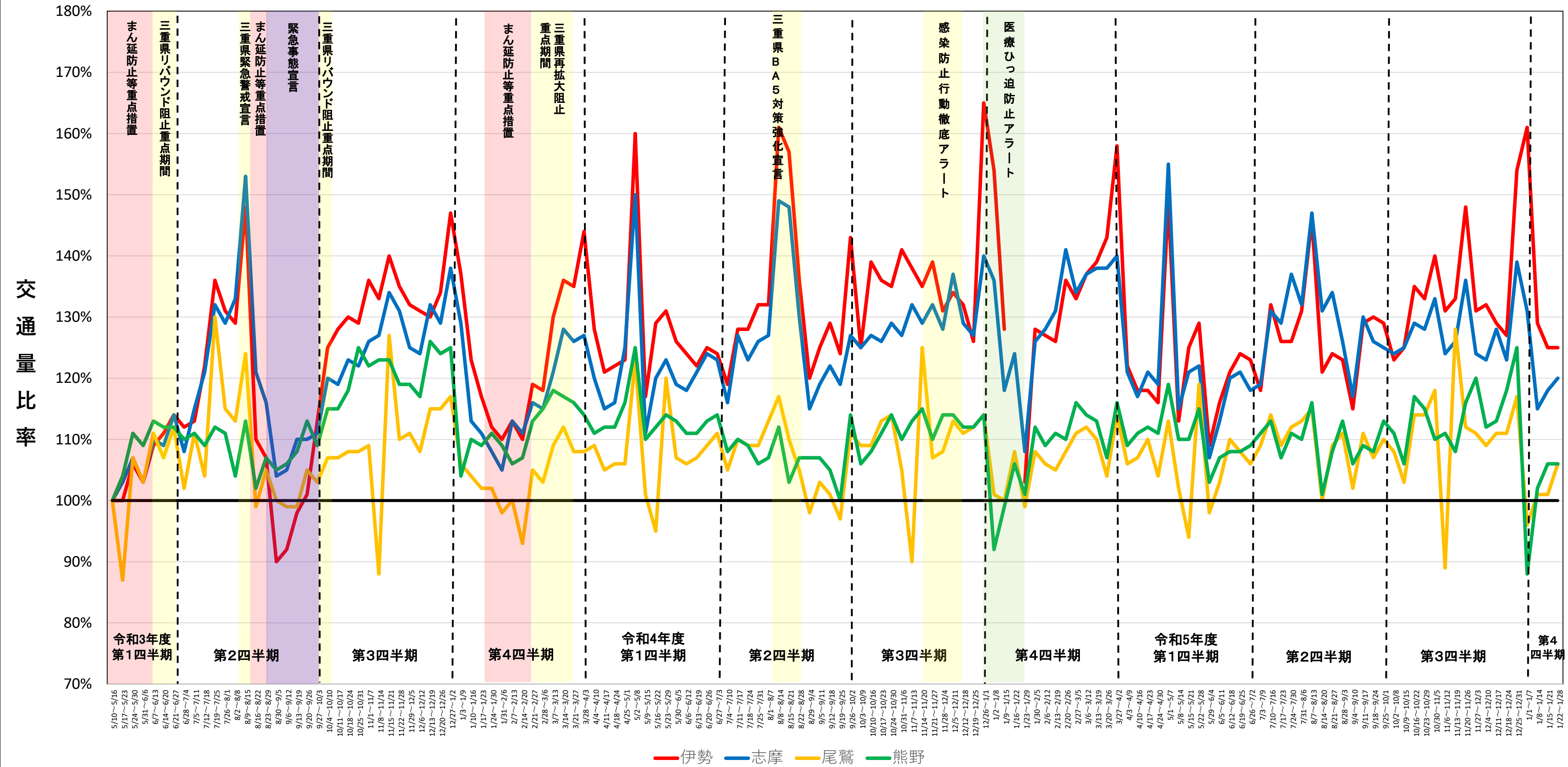


※令和3年5月10日(月)～5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示 ※交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています



— 津 — 松阪 — 伊賀

※令和3年5月10日(月)～5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示 ※交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています



※令和3年5月10日(月)～5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示 ※交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています
 ※熊野尾鷲道路(Ⅱ期)の開通前の尾鷲の交通量を補正しています